

授業科目名	生活文化演習(B)	科目コード	K0801L02
英文名	Seminar in Cultural Traditions in Japan		

科目区分	演習科目
------	------

職名	教授 教授 非常勤講師 非常勤講師	担当教員名	彼谷 環 堀江 英一 杉森 裕子 大崎 雅子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	2限目
開講時期	1年後期	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>「生活文化」は、人々が生活を送る地域や場所、時代、宗教、思想など様々な要素を含み形成される文化だと言えます。この演習では、富山県や日本の地域性、国際社会との関係性にも注目しながら、日本に暮らす人々の生活文化を理解し、具体的に体験していきます。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	民衆信仰	伝統行事	和食	ビジネスマナー	人間関係
-------	------	------	----	---------	------

到達目標	子ども育成のスペシャリストを志す者の基礎教育として、時代を超えて受け継がれてきた生活文化の一端に触れることができる(50%)。				
	地域に根差した文化を知り、次世代に継承したい行事について自ら考え理解を深めることができる(50%)。				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力(人間性の向上)		21世紀を生きる社会人としての資質・能力(社会性の向上)		
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 「生活文化」を考える(彼谷)	
	【予習】「生活文化」という用語からイメージすること・もの・ならわし等を考えておく。	30分
	【復習】最後のワークで取り上げたい「次世代に伝えたい行事」について考える。	60分
第2回	富山の民衆信仰(1) 富山の神社によるネットワーク(堀江)	
	【予習】自宅周辺の神社にはどのようなものがあるか地図などを用いて理解する。	30分
	【復習】神社の種類を整理して覚える。	10分
第3回	富山の民衆信仰(2) 富山・金沢・全国を結ぶ神社によるネットワーク(堀江)	
	【予習】地図を用いて自宅周辺の神社の位置関係を把握する。	10分
	【復習】射水市周辺の神社の位置関係の規則性を用意された地図に見いだす。	60分
第4回	富山の音楽(1) 唱歌・童謡の歴史・その1(堀江)	
	【予習】「音楽科教育法」の我が国の音楽教育の歩みについて概要を把握する。	20分
	【復習】時代ごとの唱歌・童謡の歴史を整理して覚える。	30分
第5回	暮らしの文化(1) 基本的な手紙の書き方 お礼状を中心に(彼谷)	
	【予習】これまで自分が書いた(あるいは、いただいた)手紙や葉書について、どんな特徴があったか調べる。	30分
	【復習】お世話になっているゼミ担当教員への手紙を書く。	60分
第6回	暮らしの文化(2) メールによるコミュニケーション方法を学ぶ(彼谷)	
	【予習】近年、ビジネスで用いられるメールの書き方について学び、実践する。	30分
	【復習】催事のお誘いのためのメール文書を作成する。	60分
第7回	暮らしの文化(3) 「和食文化の継承と食育」(杉森)	
	【予習】ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食;日本人の伝統的な食文化」の意義について理解を深める。	30分
	【復習】和食文化の継承と食育について、家庭や教育などで実践できることを考えてみる。	60分
第8回	富山の音楽(2) 唱歌・童謡の歴史・その2(堀江)	
	【予習】「音楽科教育法」の我が国の音楽教育後半の歩みについて概要を把握する。	20分
	【復習】時代ごとの唱歌・童謡の後半の歴史を整理して覚える。	30分
第9回	富山の音楽(3) 民謡の歴史(堀江)	
	【予習】自分が住んでいる地域の民謡・わらべ歌にはどのようなものがあるか調べる。	20分
	【復習】富山県の代表的な民謡・わらべ歌について概要を理解する。	20分

	適切な人間関係を学ぶ（外部講師・相談機関での実務経験者）	
第10回	【予習】新聞やインターネット等を用いて、デートDVについて調べておく。	30分
	【復習】講演を聞いて、感じたこと、実践に活かせることをGoogle Formアンケートで回答する。	60分
	適切な話し方を学ぶ（外部講師・放送局での実務経験あり） ・元民放アナウンサーによる話し方講座を受講し、相手に応じた話し方について実践する。	
第11回	【予習】「相手に伝える」目的で話すために必要な点を考えておく。	30分
	【復習】講演の内容を、授業や生活に活かす。	60分
	ビジネスマナーを学ぶ（1）（大崎）	
第12回	【予習】目上の人に対する挨拶の仕方や立ち居振る舞いなどを調べておく。	30分
	【復習】講義の内容を、実習や生活で活かす。	60分
	ビジネスマナーを学ぶ（2）（大崎）	
第13回	【予習】前回の内容を確認しておく。	30分
	【復習】講義の内容を、実習や生活で活かす。	60分
	発表会のためのグループワーク 「次世代に伝えたい日本の行事」をまとめる（彼谷）	
第14回	【予習】グループで話し合うために、「次世代に伝えたい日本の行事」を考えてくる。	30分
	【復習】発表会のための役割分担、PPTスライドを製作する。	60分
	グループ発表 「次世代に伝えたい日本の行事」（彼谷）	
第15回	【予習】プレゼン用のPPTを製作し、彼谷に送信する。	60分
	【復習】他のグループの良かった点、自分のグループの改善点をまとめ、Google Formを使って意見を投稿する。	30分
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 については、授業中に指定する課題を中心に評価する（50％）。          到達目標項目 については、授業中の積極的態（30％）、課題発表（20％）で評価する。          人間性：50％、 社会性：50％          なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	必要に応じてプリント、資料を配布します。	使用資料 <参考図書>	適宜指示します。
授業外学修等	<p>授業では、内容に応じて担当者が交代します。これからの生き方の指針となるものを発見できるよう、積極的に学ぶ姿勢を心がけてください。</p>		
授業外質問方法	<p>時間外の質問は、メールでも受け付けます。彼谷（kayatama@tuins.ac.jp）、堀江（horie@tuins.ac.jp）</p>		
オフィス・アワー	<p>授業の前後（各担当）</p>		